

第8回エコパークかごしま安全監視委員会 会議概要

1 開催日時

平成28年8月30日（火） 午後2時から午後3時10分まで

2 開催場所

薩摩川内市（エコパークかごしま管理棟会議室等）

3 出席者

- ・ 出席委員 13名（委員数 13名）
川永野自治会：有馬 純郎，有馬 茂
木場茶屋自治会：吉竹 千秋，岩元 秀行
百次大原野自治会：塘之口 勇，村尾 實
東大谷自治会：和田 岩男，岩月 春美
学識経験者：平田 登基男 鹿児島工業高等専門学校名誉教授（委員長）
樋口 壯太郎 福岡大学大学院教授
北村 良介 鹿児島大学名誉教授
松村 和雄 鹿児島大学名誉教授
薩摩川内市：内田 泰二 薩摩川内市市民福祉部環境課長
- ・ 事業者
（公財）鹿児島県環境整備公社
- ・ 事務局
鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課

4 会次第

- (1) 開会
- (2) 議事
 - ・ 搬入状況及び環境モニタリング実施状況について
 - ・ 浸出水処理施設の稼働状況について
- (3) 質疑・意見
- (4) その他
- (5) 閉会

5 議事概要

（公財）鹿児島県環境整備公社から、産業廃棄物管理型最終処分場「エコパークかごしま」の廃棄物搬入状況、環境モニタリング実施状況及び浸出水処理施設の稼働状況について説明を行うとともに、浸出水処理施設内での稼働状況確認及び覆蓋施設内での埋立状況確認を行いました。

6 主な質疑応答

- (1) 一般廃棄物の種類は具体的には何か。
 - ・ 燃え殻、ばいじんである。
- (2) 浸出水処理の過程で生じた副生塩の分析等はしているのか。
 - ・ 県の工業技術センター等で分析している。ナトリウム、塩素、カリウム等が主な

成分である。

(3) 処理後の浸出水は、散水以外の用途にも使えないか。

- ・ 水質的には問題ないと思われるが、イメージの問題があり難しい。

7 その他

事務局から、次回の安全監視委員会は、施設の運営状況等を踏まえ、開催時期については、委員長と相談の上で決めたい旨説明し、各委員の了承を得ました。

8 資料

- ・ 搬入状況及び環境モニタリング実施状況について等



第8回エコパークかごしま安全監視委員会

会 次 第

日時：平成28年8月30日（火）午後2時～

場所：エコパークかごしま管理棟会議室等

1 開 会

2 議 事

(1) 搬入状況及び環境モニタリング実施状況について

(2) 浸出水処理施設の稼働状況について

3 質疑・意見

4 その他

5 閉 会

第8回エコパークかごしま安全監視委員会 出席者名簿

区 分	所 属 ・ 職	氏 名	備 考
委 員	川永野自治会	有 馬 純 郎	
	〃	有 馬 茂	
	木場茶屋自治会	吉 竹 千 秋	
	〃	岩 元 秀 行	
	百次大原野自治会	塘 之 口 勇	
	〃	村 尾 實	
	東大谷自治会	和 田 岩 男	
	〃	岩 月 春 美	
	鹿児島工業高等専門学校 名誉教授	平 田 登 基 男	委員長
	福岡大学大学院 教授	樋 口 壯 太 郎	
	鹿児島大学 名誉教授	北 村 良 介	
	鹿児島大学 名誉教授	松 村 和 雄	
	薩摩川内市市民福祉部環境課 課長	内 田 泰 二	

公 社	(公財) 鹿児島県環境整備公社 理事長	新 川 龍 郎	
	〃 専務理事兼事務局長	吉 松 孝 二	
	〃 事務局次長兼総務課長	田 中 正 浩	
	〃 業務課長	野 口 紳 一	
維持管理JV	大成・クボタ環境特定維持管理JV 総括	鎌 田 励 輝	
	〃 水処理責任者	伊 藤 圭	
事 務 局	鹿児島県環境林務部廃棄物・リサイクル対策課 参事 (廃棄物・リサイクル担当)	西 原 充 貴	
	〃 参事 (公共関与処分場担当)	伊 地 知 芳 浩	
	〃 参事付	坂 井 康 孝	
	〃 主事	長 濱 一 勲	